

上場会社名 リズム株式会社 上場取引所
 コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 博美
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山崎 勝彦 (TEL) 048-643-7241
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,039	△15.8	△367	—	△249	—	△1,979	—
2020年3月期第2四半期	14,305	△6.5	10	△96.8	80	△79.6	△110	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,286百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △547百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△239.67	—
2020年3月期第2四半期	△13.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,531	23,435	65.9
2020年3月期	37,117	25,970	69.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 23,409百万円 2020年3月期 25,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	△16.4	△730	—	△500	—	△2,150	△260.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	8,385,093株	2020年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	125,041株	2020年3月期	124,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	8,260,244株	2020年3月期2Q	8,261,595株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(追加情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日)における国内及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済活動が徐々に再開され、一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、収益力の強化と持続的な発展を目指し、10月1日にリズム時計工業株式会社、東北リズム株式会社及びリズム協伸株式会社の国内基幹3社が合併し、「リズム株式会社」として発足いたしました。また本合併に伴い、これまでの事業別組織から機能別組織へと抜本的な組織再編を実施いたしました。

当社グループの売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はおおむね底を打ち、BtoCの時計事業、BtoBの接続端子事業・プレジジョン事業ともに受注は回復基調にあるものの、減収となりました。

営業利益につきましては、時計事業が国内販売において黒字転換を果たしましたが、接続端子事業・プレジジョン事業においては、新型コロナウイルス感染症発生後、取引先の生産調整による受注減少や一部の国において当局の指導により生産活動を制限せざるを得なかったことによる売上高減少の影響が大きく、全体では営業損失となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、当社における希望退職者への早期退職関連費用等により19億79百万円(前年同四半期比18億69百万円減)の四半期純損失となりました。

なお、2021年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。また、機能別組織への移行に伴う当会計年度における報告セグメント区分の変更は予定しておりません。

セグメント別の経営成績については、次の通りです。

(単位：百万円)

		2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	時計事業	4,179	4,079	△100	△2.4%
	接続端子事業	4,511	3,415	△1,096	△24.3%
	プレジジョン事業	5,443	4,156	△1,287	△23.7%
	その他	170	389	218	127.9%
	計	14,305	12,039	△2,265	△15.8%
営業利益又は営業損失(△)	時計事業	△230	61	291	—
	接続端子事業	331	△13	△345	—
	プレジジョン事業	136	△177	△314	—
	その他	23	59	35	148.4%
	調整額	△252	△297	△45	—
	計	10	△367	△377	—
経常利益又は経常損失(△)	80	△249	△330	—	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	△1,979	△1,869	—	

①時計事業

国内では、緊急事態宣言解除後、店舗営業・購買活動が再開し、売上高は徐々に回復いたしました。USBファンや防災行政ラジオの販売が好調に推移したことや昨年連結子会社化したアイ・ネクストジーイー株式会社の売上寄与により、売上高は増収となりました。利益面につきましては、昨年から取り組んでおります時計事業改革に伴う経費削減効果により、黒字転換を果たしました。

海外では、新型コロナウイルス感染症の影響が収束傾向にある中国・香港はじめアジア地区において売上高の回復傾向がみられる一方、米国をはじめ欧州・中東においては低迷が続いており、減収となりました。利益面につき

ましては、製販両面での固定費削減、原価率改善が進んでいるものの営業損失となりました。

これらの結果、時計事業全体では減収増益となり、黒字転換を果たしました。

②接続端子事業

国内では、車載関連や家電向け端子等の受注が全体的に落ち込み、減収減益となりました。

海外では、中国ならびに東南アジア市場において売上高は回復基調にあります。インドネシアでは新型コロナウイルス感染症の影響による受注減少が継続しており、全体では減収減益となりました。

これらの結果、接続端子事業全体では減収、のれんの償却により営業損失となりました。

③プレジジョン事業

国内では、自動車関連部品の受注減少及び工作機械部品販売が昨年から続く米中貿易摩擦の影響を大きく受けたことに加え、新型コロナウイルス感染症に伴う新規受注案件の立上げ遅れなどが重なり、減収となりました。利益面につきましては、固定費削減等利益確保に努めましたが、受注減少の影響をカバーしきれず、営業損失となりました。

海外では、ベトナムおよび中国での受注減少の影響で減収となりました。利益面につきましては、効率化など固定費圧縮策を進めましたが、受注減少の影響により、営業損失となりました。

これらの結果、プレジジョン事業全体では減収、営業損失となりました。

④その他

体温計、消毒液等の衛生商品の販売が好調に推移し増収増益となり、その他事業全体では、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は355億31百万円となり、前連結会計年度末371億17百万円に比べて15億86百万円減少しました。流動資産は、たな卸資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ10億44百万円減少しました。固定資産は、のれんの減少等により、前連結会計年度末に比べ5億42百万円減少しました。

(負債)

負債合計は120億95百万円となり、前連結会計年度末111億47百万円に比べ9億47百万円増加しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の減少等により前連結会計年度末に比べ6億17百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億65百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、234億35百万円となりました。利益剰余金の減少等により前連結会計年度末259億70百万円に比べ25億34百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,647	9,658
受取手形及び売掛金	4,340	3,920
電子記録債権	1,296	1,383
たな卸資産	6,909	6,415
その他	576	348
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	22,767	21,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,452	5,214
その他(純額)	4,470	4,450
有形固定資産合計	9,922	9,664
無形固定資産		
のれん	915	735
その他	222	229
無形固定資産合計	1,138	964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715	1,657
その他	1,664	1,609
貸倒引当金	△90	△88
投資その他の資産合計	3,289	3,178
固定資産合計	14,350	13,807
資産合計	37,117	35,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,878	2,549
短期借入金	525	533
1年内返済予定の長期借入金	67	447
未払法人税等	146	135
賞与引当金	173	190
役員賞与引当金	8	—
1年内償還予定の社債	2,000	—
その他	1,207	2,534
流動負債合計	7,007	6,389
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	73	1,625
退職給付に係る負債	581	550
その他	484	529
固定負債合計	4,139	5,705
負債合計	11,147	12,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	4,860	2,633
自己株式	△274	△275
株主資本合計	24,543	22,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	△40
為替換算調整勘定	1,287	1,021
退職給付に係る調整累計額	99	113
その他の包括利益累計額合計	1,400	1,094
非支配株主持分	26	26
純資産合計	25,970	23,435
負債純資産合計	37,117	35,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,305	12,039
売上原価	11,166	9,482
売上総利益	3,138	2,556
販売費及び一般管理費	3,127	2,924
営業利益又は営業損失(△)	10	△367
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	53	43
受取賃貸料	167	160
雇用調整助成金	—	60
その他	30	38
営業外収益合計	257	303
営業外費用		
支払利息	21	20
出向費用	60	52
賃貸費用	80	70
為替差損	14	18
その他	9	23
営業外費用合計	186	185
経常利益又は経常損失(△)	80	△249
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	53	—
特別利益合計	54	5
特別損失		
早期退職関連費用	—	1,501
固定資産処分損	22	14
減損損失	12	—
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	34	1,523
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	99	△1,767
法人税、住民税及び事業税	176	90
過年度法人税等	—	60
法人税等調整額	33	61
法人税等合計	210	212
四半期純損失(△)	△110	△1,980
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	△1,979

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△110	△1,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	△53
為替換算調整勘定	△280	△266
退職給付に係る調整額	3	14
その他の包括利益合計	△437	△305
四半期包括利益	△547	△2,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△547	△2,285
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	99	△1,767
減価償却費	487	502
減損損失	12	—
早期退職関連費用	—	1,501
のれん償却額	160	166
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24	△30
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	9	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	16
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△8
受取利息及び受取配当金	△59	△45
支払利息	21	20
為替差損益(△は益)	△2	△7
固定資産処分損益(△は益)	22	14
固定資産売却損益(△は益)	△0	△5
投資有価証券売却損益(△は益)	△53	—
売上債権の増減額(△は増加)	783	271
たな卸資産の増減額(△は増加)	△453	417
仕入債務の増減額(△は減少)	△77	△274
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21	138
その他の資産の増減額(△は増加)	△123	△31
その他の負債の増減額(△は減少)	△257	△109
小計	495	777
利息及び配当金の受取額	59	45
利息の支払額	△21	△19
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△228	△17
早期退職関連費用の支払額	—	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	304	751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	19
有価証券の償還による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,032	△352
有形固定資産の売却による収入	10	9
無形固定資産の取得による支出	△16	△22
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却等による収入	155	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他	51	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△829	△342

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	160	20
長期借入れによる収入	—	2,070
長期借入金の返済による支出	△22	△137
社債の償還による支出	—	△2,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△247	△247
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112	△296
現金及び現金同等物に係る換算差額	△77	△82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△714	30
現金及び現金同等物の期首残高	10,128	9,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,414	9,652

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,179	4,511	5,443	14,134	170	14,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	4	32	44	323	367
計	4,186	4,516	5,476	14,178	493	14,672
セグメント利益又は損 失(△)	△230	331	136	238	23	262

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	238
「その他」の区分の利益	23
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△243
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	10

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	接続端子 事業	プレジ ジョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,079	3,415	4,156	11,650	389	12,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	253	263	281	545
計	4,089	3,415	4,409	11,914	670	12,585
セグメント利益又は損 失(△)	61	△13	△177	△129	59	△70

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△129
「その他」の区分の利益	59
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△284
棚卸資産の調整額	△12
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△367

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「電子事業」は「プレジジョン事業」に統合しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に組み替えたものを表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については今後の広がり方や収束時期等が依然として不透明なものの、2021年3月期の一定期間にわたり影響が継続することを前提に、当第2四半期連結累計期間の業績および今後の見通しと現時点で入手可能な情報に基づき、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年4月23日開催の取締役会において、当社の完全子会社である東北リズム株式会社（以下「東北リズム」）およびリズム協伸株式会社（以下「リズム協伸」）を吸収合併することを決議し、2020年5月22日付で合併契約を締結いたしました。これに基づき、2020年10月1日を効力発生日として吸収合併を行い、商号を「リズム株式会社」に変更いたしました。

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

①被取得企業の名称：東北リズム株式会社

事業の内容：精密機器の金型・部品等の製造販売事業

②被取得企業の名称：リズム協伸株式会社

事業の内容：接続端子、金型等の製造販売事業

(2) 吸収合併を行った理由

当社、東北リズム、リズム協伸は、リズムグループにおける国内の基幹3社であります。3社合併によるシナジーを最大限に生かし、ガバナンスの強化、インフラの統一、共通部門の効率化、人員の最適化等を推進することは、リズムグループの収益力の強化、持続的な発展に資するものと判断いたしました。

(3) 企業結合日

2020年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、東北リズム、リズム協伸を消滅会社とする吸収合併

(5) 結合後企業の名称

リズム株式会社

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行いました。

なお、当該吸収合併は、連結財務諸表上、内部取引として相殺消去されるため、損益に与える影響はありません。